

遠野市中心市街地活性化基本計画の事業概要【計画期間 平成21年4月～26年3月】

町家の歴史・文化を活かした街なか観光の推進

○新とおの昔話村整備事業(①)

とおの昔話村のバリアフリー化に加え、保存している旧伊藤家(町家)や蔵の復元、蔵の道ひろばの開閉式ドームの設置など、とおの昔話村を拡大して一体的に整備。語り部による昔話ライブの通年開催や柳田國男没後50年(H24)の記念イベントを開催。



(町家の復元イメージ) (蔵の外観イメージ)

○観光交流センター整備事業(②)

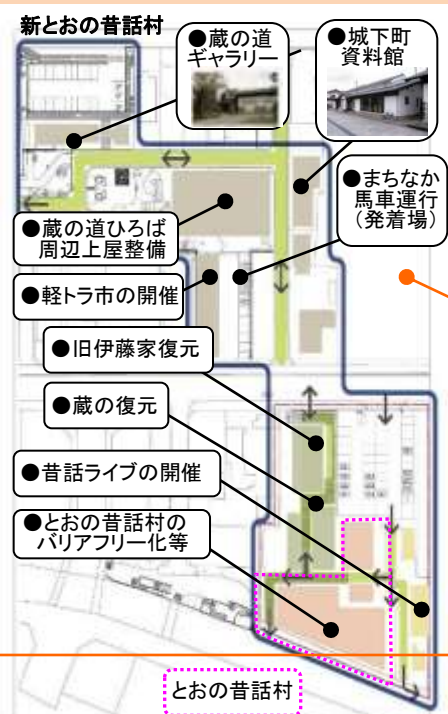
駅前に観光交流センターを整備し、観光情報の提供や観光ガイドによる遠野ツアーを提供。

○博物館リニューアル事業(③)

遠野物語発刊100周年(H22)に合わせ、展示内容のリニューアルと博物館のバリアフリー化を実施。

○観光ガイドの育成

遠野の「物語」を伝える観光案内人や外国人ガイドを育成。



(事業イメージ)

中心市街地: 41ha



市民と観光客の回遊と交流による賑わいの創出

○まちなか趣味の博物館ネットワーク事業(④) 空き店舗をネットワーク化し、高齢者等の手づくり作品や写真を募集・展示、特産品を販売。

○まちなか応援隊の整備

まちづくりを応援する市民を「まちなか応援隊」として組織し、観光案内やイベント等を実施。

○まちおこしセンター等の整備(⑤)

広域合併により撤退した旧JAビルに、市の産業部門や商業団体が入居し、まちおこし等の指導や市民の交流の場として再生。

○市民と観光客が交流するイベント実施

「町家のひなまつり」や「街角ギャラリー花物語」など、市民と観光客が共に楽しむイベントを開催。

